

BUSINESS
REPORT
2026

第82期中間株主通信

2025年4月1日 >>> 2025年9月30日

黒田精工株式会社

証券コード: 7726

株主の皆様へ



ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第82期中間期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

代表取締役社長 田 浩 史

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は雇用・所得環境が改善傾向で推移し緩やかな景気の回復基調で推移しました。一方で世界経済は、ロシア・ウクライナおよび中東地域における地政学リスクの長期化、米国との関税措置に伴う影響等を背景に先行き不透明な状況で推移しました。

こうした状況下、当社グループの受注高は、半導体・液晶関連装置市場向け駆動システム商品の受注低迷の状況が継続しているものの、機工・計測システム商品において特定顧客からまとまった受注があったことにより10,012百万円（前年同期比506百万円、5.3%増）となりました。

一方、売上高については、単体では各セグメントにおいて前年同期に比較し増加となったものの、欧米子会社等の売上減少の影響を受け8,617百万円（前年同期比166百万円、1.9%減）となりました。

利益面に関しては、欧米子会社の売上高減少に加え、単体の駆動・金型セグメント内の品種構成差等が大きく影響し営業損失は74百万円（前年同期は営業利益406百万円）、経常損失は87百万円（前年同期は経常利益308百万円）と損失計上となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、投資有価証券売却益286百万円を計上したことにより120百万円（前年同期比88百万円、42.4%減）となりました。

通期の見通し

駆動システム商品の受注低迷の長期化、車載用モーターコアにおける世界的EV減速や中国希土類磁石の輸出規制の影響、ドイツ子会社の業績低迷等の状況を考慮し、今回当社グループの通期連結業績見通しを下方修正いたしました。売上高18,800百万円、営業利益180百万円、経常利益40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益130百万円と予想しております。また、配当については、業績予想の修正を受けて、期末配当を1株当たり10円とし、中間配当とあわせ通期では20円を予定しています。

株主の皆様には何卒ご理解ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

決算ハイライト



1

2

セグメント情報／トピックス

■ 駆動システム

当セグメントでは、半導体・液晶関連装置市場向け商品の調整局面が継続しており、加えて欧米子会社の受注低迷の影響等もあり受注高は2,903百万円（前年同期比222百万円、7.1%減）となりました。売上高については期初受注残高の減少の影響もあり2,979百万円（前年同期比233百万円、7.3%減）となりました。

収益面では、利益率の改善に努めたものの欧米子会社の売上高の減少に加え単体における研削ねじと転造ねじの品種構成差等の影響により営業損失154百万円（前年同期は営業利益39百万円）と損失計上となりました。

売上高 **2,979** 百万円

■ 金型システム

当セグメントでは、車載用モーターコアおよび家電用モーターコア等の受注が減少したものの、現在進行している新プロジェクト関連設備等の受注が寄与し受注高は4,745百万円（前年同期比324百万円、7.3%増）となりました。売上高は、車載用モーター向け金型、家電用モーターコアが減少したこと加え、中国のレアアース（希土類）の輸出規制により磁石部品の入荷が止まった影響により当該部品を使用する車載用モーターコアの売上が減少しました。その一方で新プロジェクト関連設備の関連会社向け売上が寄与したこと等によりセグメント売上高は4,091百万円（前年同期比91百万円、2.3%増）となりました。

収益面においては、相対的に利益率の高い商品の売上が減少した一方で、利益率の低い関連会社向け設備売上が増加したこと等から営業利益は127百万円（前年同期比338百万円、72.6%減）の減益となりました。

売上高 **4,091** 百万円

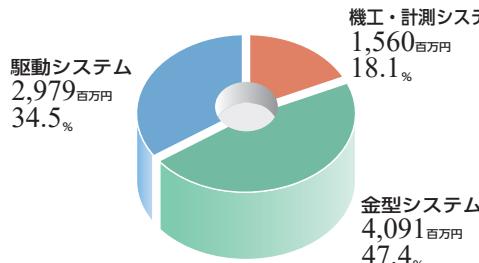
■ 機工・計測システム

当セグメントでは、受注高は精機商品において特定顧客からまとまった受注があり2,378百万円（前年同期比411百万円、20.9%増）となりました。一方売上高については、工作機械の売上減少の影響もあり、1,560百万円（前年同期比16百万円、1.1%減）となりました。

収益面では利益率の高い精機部門のシステム商品の売上が寄与したこと等により営業損失は前期より少ない40百万円（前年同期は営業損失79百万円）となりました。

売上高 **1,560** 百万円

セグメント別売上構成比



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

■ 当社は創業100周年を迎えました

当社は今年、創業100周年を迎えることができました。これもひとえに、長きにわたり当社を支えてくださった株主の皆様をはじめ、社員とそのご家族、取引先、地域社会等の数えきれないほど多くの皆様のご支援の賜物であり、心から感謝申し上げます。9月には東京・ホテルニューオータニにて約140名のお客様をお招きし、記念祝宴を開催するとともに、当社の各拠点においても社員が参加しての記念式典を執り行い、「精密のクロダ」のDNAを大事に維持継承しながら、「Challenge & Create」の精神で常に新しい商品を開発し、世界の産業の高度化に貢献し続けていく決意を新たにしました。

これから100年におきましても、皆様の変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



■ 中間配当と自己株式の取得

当社はこれまで、配当金につきましては期末配当のみの年1回を基本方針としていましたが、株主の皆様への利益還元をより機動的に実施可能とするために、取締役会の決議により中間配当が可能になるように制度を変更しました。当期の配当金は通期で1株につき20円を計画しており、そのうち1株につき10円を創業100周年記念配当金として中間配当とすることを決定しています。なお、中間配当金の支払開始日は2025年12月10日としております。

また、資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化などに対応した機動的な資本政策を遂行するため、2025年10月に発行済株式数（自己株式数を除く）の2.5%にあたる142,400株の自己株式を取得いたしました。

■ 日本工作機器工業会ならびに 経済産業省製造産業局長からの表彰

2025年5月、当社は日本工作機器工業会より永年会員として表彰を受けるとともに、同工業会への長年にわたる貢献が評価され、代表取締役社長 黒田浩史が経済産業省製造産業局長表彰を受賞いたしました。



経済産業省製造産業局長表彰の受賞

■ メカトロテックジャパン2025への出展

2025年10月に開催されたメカトロテックジャパン2025に出展し、今年度発売を開始した精密平面研削盤「GS-65CV」を紹介しました。本機は自社製ボールねじを用いて3軸駆動を電動化することにより大幅な省エネを実現したことに加え、铸物設計の最適化により剛性を向上させた、当社独自の進化を遂げたモデルです。この他に、高精度加工を実現する精密ロータリーレーザー研削盤「GSR-600」や、誰でも簡単に芯出し作業を行えるハイドロリックツールなども展示し、生産性向上に寄与する多様な製品群を通じてお客様に最適なソリューションを提案する当社の姿勢をPRしました。



精密平面研削盤GS-65CV

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 末 2025年3月31日現在	当 中 間 期 末 2025年9月30日現在
(資産の部)		
流 動 資 産	13,054	14,481
固 定 資 産	13,105	14,333
有 形 固 定 資 産	9,335	10,587
無 形 固 定 資 産	167	193
投 資 そ の 他 の 資 産	3,602	3,553
資 産 合 計	26,159	28,814
(負債の部)		
流 動 負 債	8,469	9,512
固 定 負 債	6,107	7,740
負 債 合 計	14,577	17,253
(純資産の部)		
株 主 資 本	8,787	8,825
資 本 金	1,941	1,952
資 本 剰 余 金	1,556	1,578
利 益 剰 余 金	5,297	5,304
自 己 株 式	△9	△9
その他の包括利益累計額	2,598	2,574
その他有価証券評価差額金	1,090	1,121
土 地 再 評 価 差 額 金	803	803
為 替 換 算 調 整 勘 定	648	597
退職給付に係る調整累計額	56	51
非支配株主持分	196	160
純 資 産 合 計	11,582	11,561
負 債・純資産合計	26,159	28,814

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 中 間 会 計 期 間 2024年4月1日～ 2024年9月30日	当 中 間 会 計 期 間 2025年4月1日～ 2025年9月30日
売 上 高	8,783	8,617
売 上 原 価	6,516	6,864
売 上 総 利 益	2,266	1,752
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,860	1,827
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	406	△74
営 業 外 収 益	156	131
営 業 外 費 用	254	144
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	308	△87
特 別 利 益	89	286
特 別 損 失	0	2
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	397	195
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	181	33
法 人 税 等 調 整 額	22	32
中 間 純 利 益	193	129
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益 又 は 非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 損 失 (△)	△15	9
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	209	120

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 中 間 会 計 期 間 2024年4月1日～ 2024年9月30日	当 中 間 会 計 期 間 2025年4月1日～ 2025年9月30日
営 業 活 動 に 由 る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	1,438	331
投 資 活 動 に 由 る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△445	△861
財 务 活 動 に 由 る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△988	772
現 金 及 び 現 金 同 等 物 に 係 る 換 算 差 額	70	△13
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 減 額	74	228
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 首 残 高	3,233	3,290
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 中 間 期 末 残 高	3,308	3,518

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

会社の概況／株式データ

(2025年9月30日現在)

株主メモ

■会社の概要

商 号 黒田精工株式会社
本 店 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創 業 1925年（大正14年）
資 本 金 19億52百万円
従業員数 435名

■連結対象会社の状況

連結子会社 持分法適用関連会社

クロダプレシジョンインダストリーズ(M)（マレーシア）
黒田精工（浙江）有限公司（中国）
韓国黒田精工株式会社
KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英國)
Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ)
KURODA JENA TEC, INC. (米国)
株式会社ゲーリング

日本金型産業株式会社
紅忠黒田ラミネーション株式会社

■当社グループの主要な事業

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置

■株式の状況

発行可能株式総数 14,960,000株
発行済株式の総数 5,743,286株
株主数 3,264名

■所有者別株式分布状況

合計 5,743,286株



■大株主

株主名	株式数（千株）	持株比率（%）
株式会社日本共創プラットフォーム	1,135	19.80
黒田 浩史	305	5.32
株式会社みずほ銀行	276	4.82
ファック株式会社	196	3.43
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	196	3.43
株式会社日本政策投資銀行	171	2.99
ユーログループ ラミネーション エスピーエー	168	2.94
株式会社横浜銀行	149	2.61
黒田精工取引先持株会	125	2.18
三井住友信託銀行株式会社	123	2.15

※持株比率は自己株式（7,750株）を控除して計算しております。

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定期株主総会 每年6月下旬
基準日 毎年3月31日
定期株主総会 每年3月31日
配当金 期末配当：毎年3月31日
(中間配当を行う場合：毎年9月30日)
公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。
<https://www.kuroda-precision.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)

株式に関するお手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル)
株式事務に関する一般的なお問合せ	受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に記録された株式

特別口座に記録されている株式につきましては、特別口座のままで売買できません（単元未満株式を除く）。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお願いいたします。
株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となつておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)

[手続き書類のご請求方法]

・インターネットによるダウンロード <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

黒田精工株式会社

本社／〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
TEL／044-555-3800 (代表) FAX／044-555-3524
<https://www.kuroda-precision.co.jp/>

